

四天王寺「和らぎ苑」(重症心身障害児施設) が完成しました



大阪に枚方療育園が開設されて以来、32年ぶりの
重心施設です。
運営される(社福)四天王寺福祉事業団も、最も

OTK 支える

No.23

社会福祉 全国重症心身障害児者を守る会
法人 大阪支部
大阪府重症心身障害児・者を支える会

守る会三原則

決して争ってはいけない 争いの中に弱いものの生きる場はない 親個人がいかなる主義主張があっても、重症児・者運動に参加する者は党派を超えろこと 最も弱いものを一人も漏れ無く守る

重い障害を持つ人々の安全・快適な生活を保障し、地域社会に貢献できるように頑張りたいと語っておられました。四月五日から七月頃にかけて入所の予定とのことです。
入所希望の方、相談されたい方、また、見学希望の方は、直接「和らぎ苑」(中川事業部長)まで連絡して下さい。

四天王寺「和らぎ苑」

富田林市向陽台一三二〇

入所定員 〇七〇名ー二九一〇八三六

重症心身障害児通園事業(テA型) 〇名

外来診療 定員 一五名

内科、小児科、整形外科、外科、
精神科、歯科



ライフワーク「ぎんなん」 (社福いちよの森)

ライフワーク「ぎんなん」(社会福祉法人いちよの森)が三月三〇日竣工されました。

泉佐野市内の障害児を持つお父さん・お母さんが中心になり一九九〇年に共同作業所「ぎんなん」を設立し、十一年目にしてやっと認可施設として再出発されることになりました。

その間のお父さん・お母さんの御苦労、職員の方々の御努力は大変だったろうとお察し致します。本当におめでとうございます。

泉佐野市日根野三五三三

TEL 〇七二四 六七 二七六五

身体障害者通所授産施設(定員二〇名)
知的障害者通所更生施設(定員二〇名)



大阪市だより

『東やまたレジデンス』
を見学して

かねてより、この目で確かめなければと思っていた『東やまたレジデンス』を見学して参りました。

一つ一つ設計者が違い、それぞれのニーズによって考えられたユニットが8つ集まって出来る施設、全室個室で、構造化されたシステムと、以前より話には聞くものの、なかなかイメージし難かったのですが、この度実際に見学させていただいたことにより、『こういうことだったのか』と納得することができました。それぞれのユニットが玄関を経て一つの『家』であり、採光やインテリアも随所に渡って工夫が見られました。

個別の対応、利用者のためのスケジュール表、スタッフやボランティアのためのスケジュール表(一人一人動きや対応が違うので)の作成、デイとナイトのスタッフの分離、通過施設としての認識によるグループホーム作り、援護就労の形態等、これから忘れてはならない、又、充分に考えていかなければならないと常より思っていることが実践されていることに、改めて感心すると共に、できるんだという期待感を持つことができました。『理念が先行して、実際はとて大変』と案内してくださった方がおっしゃっていましたが、確固たる理念があればあれだけの先駆的なものではないかと思えました。しっかりとした理念を持ち、全ての思いが叶えられるよう取り組んでいか

なければと、改めて感じることができ、とても充実した見学であったと思います。

本部の動物

保健医療・福祉施設

あしかがの森(仮称)の開設

全国守る会においては、国立療養所足利病院の経営移譲を受けて、本年6月に「保健医療・福祉施設あしかがの森(仮称)」を開設することになりました。地域医療と福祉を担う資源として、一般240床(うち重症児(者)160床)で、内科、小児科、外科、整形外科、リハビリテーション科、歯科が設けられ、将来的には通園、短期入所を含めた重症児病棟を整備し、身体障害者療護施設も整備する予定とのことです。超重症児といわれる方の受入も含めて、地域の拠点として大きな力を発揮していただけるものと思います。

支える会へのご寄付・助成

大阪新梅田シティ・ライオンズクラブ様

製本機一式(RISSO)

本当に有難うございました。

会費納入のお願い

2001年度の会費の納入時期が参りましたので、会員の皆様にはお手数をお掛けいたしますが、会費の納入につきまして御協力賜りますようお願い申し上げます。

また、納入の準備が遅れ、お知らせするのが大変遅くなりましたことをお詫び申し上げます。なお、既に納入がお済みの方にはあしからずお許しを賜りますようお願い申し上げます。

問い合わせ

〒545-0021

大阪市阿倍野区阪南町5-15-28

育徳コミュニティセンター内

TEL/FAX 06-6624-2555

郵便振替

00930-9-69598

大阪府重症心身障害児・者を支える会

会長 今井清行



支える会ホームページのご案内

全国・各地へ
リンクあり!

ドメイン名

<http://www.sasaerukai.or.jp/>

iモード

<http://www.sasaerukai.or.jp/imoh.htm>

(イベント情報のみ提供)



第38回全国大会

広島県広島市にて開催

大会概要

とき 平成13年6月16日(土)～17日(日)
会場 リーガロイヤルホテル広島

〒730 0011

広島市中区基町6-78

電話 〇八二五〇二一一二二

【第一日目】6月16日(土)

受付 正午～午後一時まで

分科会 午後一時～5時まで

懇親会 午後6時半～8時まで

【第二日目】6月17日(日)

講演 午前9時～9時45分

式典 午前10時～正午まで

施設見学

わかば療育園・鈴が峰(希望者のみ)

申し込み方法

支部および本部事務局にある申込用紙に記入し、
〒730 〇八一 広島市中区中島町3-25
ニッセイ平和公園ビル10階

JTB団体旅行広島支店「守る全国大会」係

電話 〇八二五四二二二七一一

FAX 〇八二五四二二二七三三八

まで送付下さい。

申込締切 4月27日必着

問い合わせ 全国守る会事務局・広島県守る会事務局

情報コーナー

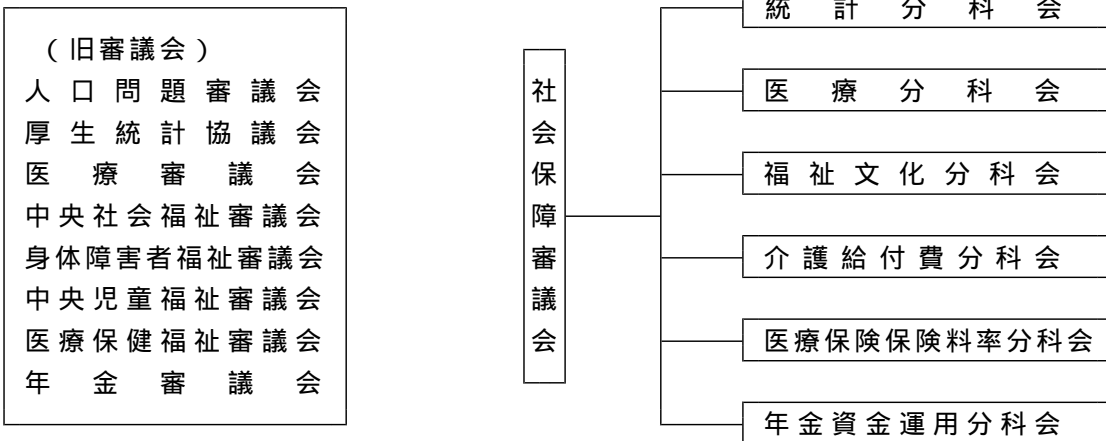
ご存じのように、国レベルにおいても省庁編成が行われ、厚生省は新たに厚生労働省となりました。

また、措置制度を含め、施設利用における苦情処理の問題や第三者評価機関等についても新たな方向性が示されています。障害児者を取り巻く情勢が急激に変わりつつある昨今、重症児者のおかれていた環境がどのようになっているのか大きな不安と期待が存在しています。ただ、介護保険の導入に見られる混乱等を見るにつけ、不安の方が遙かに大きく、府、市町村等の担当者の異動も激しいこの時期、改めて制度や方向性について確認や情報収集が必要であると感じます。ここに掲載させていただいた資料は、本部からの資料の一部で、整理もなく掲載させていただきましたが、会員の皆様において疑問や確認の必要な情報など、また、新たな情報等がありましたら、本事務局までお知らせ・問い合わせ下さいませようお願いします。

資料

- ・ 全国障害保健福祉主管課長会議資料
- ・ 国立病院・療養所の再編について
- ・ 医療法改正の要点
- ・ 障害保健福祉主管課長会議資料
- ・ 障害者プランの推進
- ・ 福祉サービシスに関する苦情解決事業
- ・ 及び第三者評価事業について
- ・ 支援費制度Q&A集
- ・ 他

社会保障審議会の組織



社会保障審議会委員 (敬称略)

赤崎義則 (全国市長会会長・鹿児島市長) 浅野史郎 (全国知事会社会文教調査委員長・宮城県知事) 阿藤誠 (国立社会保障・人口問題研究所長) 糸氏英吉 (日医副会長) 稲上 毅 (東大大学院人文社会系研究科教授) 岩男壽美子 (武蔵工大環境情報学部教授) 岩田正美 (日本女子大人間社会学部教授) 翁 百合 (日本総研調査部主席研究員) 奥田 碩 (日経連会長) 貝塚啓明 (中央大法学部教授) 鴨下重彦 (社会福祉法人賛育会病院長) 京極高宣 (日本社会事業大学長) 小宮英美 (NHK福岡放送局チーフディレクター) 清家 篤 (慶大商学部教授) 高木 剛 (連合副会長・ゼンセン同盟会長) 高久史磨 (自治医大学長) 永井多恵子 (世田谷文化生活情報センター館長) 中村博彦 (全国老人福祉施設協議会会長) 西尾 勝 (国際基督教大学教授) 長谷川真理子 (早大政経学部教授) 樋口恵子 (東京家政大教授) 廣松 毅 (東大大学院総合文化研究科・教養学部教授) 星野進保 (総合研究開発機構特別研究員) 堀 勝洋 (上智大法学部教授) 宮島洋 (東大大学院経済学研究科教授) 山本文男 (全国町村会会長・福岡県添田町長) 若杉敬明 (東大大学院経済学研究科教授) 渡辺俊介 (日本経済新聞論説委員)

* 「社会保障構造のあり方について考える有識者会議」委員と重複する委員

赤崎義則、阿藤誠、岩男壽美子、貝塚啓明、京極高宣、清家篤、高木剛、中村博彦、宮島洋 (9名)

支援費支給導入スケジュール（案）

12年度	全国会議
13年度	支援費支給決定に係る事務の大要の提示 平成14年度予算概算要求 事業者指定基準案の提示 支援費支給決定に係る政省令案の提示 事業者指定関係省令の公布 支援費支給決定関係省令の公布 その他の手続関係の政省令の公布
14年度	都道府県事業者指定担当職員研修 支援費決定に係る都道府県職員研修 支援費の国庫負担等概算要求 支援費基準の骨格の提示 障害保健福祉関係予算の確定 支援費基準関係の政省令、告示の公布
15年度	制度発足

	身体障害者福祉法	知的障害者福祉法	児童福祉法（障害児関係のみ）
支援制度へ移行するもの	<ul style="list-style-type: none"> ・身体障害者更生施設 ・身体障害者療護施設 ・身体障害者授産施設（政令で定める施設） ・身体障害者居宅介護等事業 ・身体障害者デイサービス事業 ・身体障害者短期入所事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・知的障害者更生施設 ・知的障害者授産施設（政令で定める施設） ・知的障害者通勤寮 ・心身障害者福祉協会が設置する福祉施設 ・知的障害者居宅介護等事業 ・知的障害者デイサービスセンター ・知的障害者デイサービス事業 ・知的障害者短期入所事業 ・知的障害者地域生活援助事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童居宅介護等事業 ・児童デイサービス事業 ・児童短期入所事業
支援制度へ移行しなされるもの	<ul style="list-style-type: none"> ・身体障害者福祉ホーム ・身体障害者相談支援事業 ・身体障害者生活訓練等事業 ・手話通訳事業 ・補装具製作施設 ・盲導犬訓練施設 ・視聴覚障害者情報提供施設 ・身体障害者の更生相談に応じる事業 ・日常生活用具給付事業 ・補装具給付事業 ・更生医療・育成医療 	<ul style="list-style-type: none"> ・知的障害者福祉ホーム ・知的障害者相談支援事業 ・知的障害者の更生相談に応じる事業 ・日常生活用具給付事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・知的障害児施設 ・知的障害児通園施設 ・盲ろうあ児施設 ・肢体不自由児施設 ・重症心身障害児施設 ・障害児相談支援事業 ・児童の福祉の増進について相談に応じる事業 ・日常生活用具給付事業

2001年度 第8回定期総会の御案内

日 程 2001年5月28日(月)
 総 会 10:30～11:30(受付10:00～)
 交流会 11:30～13:30

会 場 太 閤 園・ゴールデンホール TEL 06-6356-1110
 (JR東西線「大阪城北詰駅」3号出入口より徒歩1分)

議 案 2000年度事業報告・会計報告
 2001年度事業計画・収支予算
 役員改選
 その他

- 交 流 会 -

会 場 太閤園ゴールデンホール

参加費 1,000円

申 込 「支える会」事務局まで郵送(出欠票)又は電話・FAXにて

「支える会」事務局

〒545-0021

大阪市阿倍野区阪南町5-15-28 育徳コミュニティーセンター2階

大阪府重症心身障害児 者を支える会 会長 今井 清行

TEL・FAX 06-6624-2555 <郵便振替> 00930-9-69598



編集後記

新しい改革の波が、目の前まで押し寄せてきていますが、この改革は本当に重い障害を持つ方を等しく社会の一員として認めたいとされているのでしょうか。

保険制度の導入で得られるものは、本当にサービスを受ける側の利益となるのでしょうか。

私たちの前にいる「重症児者」と呼ばれる方々が地域の中で、「ごくごく当たり前に、平凡に暮らしている社会に向かうだけの土台が本当にできるのでしょうか。担当者が変わることで、今までのやり方が大きく変わり、とまどっている現実、私たちが疑い深くしているのかも知れません。

編集委員一同

編集日 四月一日

編集・責任者

事務局

〒545-0021

大阪市阿倍野区阪南町

育徳コミュニティーセンター2F

TEL・FAX 〇六 六六一四 二五五五

〇六 六六一四 二五五五

TEL・FAX 〇六 六六一四 二五五五

運営委員長 今井 清行

発行所

大阪身体障害者団体定期刊行物協会

〒565 〇八五一

吹田市千里山西六 二七二一

定価 五〇円